

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)トヨタサービスセンター神奈川新築工事(駐車場棟)	階数	地上3F
建設地	愛甲郡愛川町角田字小沢下原507番1	構造	S造
用途地域	工業地域、防火指定無し(法22条地域内)	平均居住人員	10人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,000時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年7月 予定	評価の実施日	2016年2月1日
敷地面積	9,522 m ²	作成者	ケイ・ティ・ストアマネジメント株式会社
建築面積	3,979 m ²	確認日	2016年2月1日
延床面積	11,627 m ²	確認者	ケイ・ティ・ストアマネジメント株式会社

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 4
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 2
LR3 敷地外環境: 2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.7

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合	自動車庫の用途のため室内環境の評価が低い。	その他
Q1 室内環境	Q2 サービス性能 壁長さ比率=0.07。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内の通路部分に風が流れる建物配置となっているため暑熱環境が緩和されている。
LR1 エネルギー LED照明器具使用。	LR2 資源・マテリアル 外装材の取付が乾式工法のため再利用が可能。 発泡材を用いた断熱材等を使用していない。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率=55%。 十分な駐車場の確保。 荷捌き用車両の駐車施設確保。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される